

令和7年度 学校評価 総括評価表

徳島県立小松島西高等学校勝浦校

重点目標		多様な学びにより学習意欲の向上や専門的知識・技術を習得させるとともに、国際的視点と社会的実践力を育成する。			
		自己評価		学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
評価指標	活動計画	達成度	総合評価	学校関係者意見	
<p>①ICT機器を活用した基礎学力の定着及び向上 学年末の意識調査で生徒の自己評価 80%以上(学力向上)</p> <p>②授業時間数の確保 授業振り替え率(2学期末現在) 90%以上 ※授業振り替え率:授業時数－自習時間／授業時数(教務課)</p> <p>③環境美化に関する意識の向上と実践 ゴミの分別に関する意識の向上 80%以上 リサイクル活動としてペットボトルのキャップによるワクチン支援を行う(特別活動課)</p> <p>④資格取得者数 延べ数80人以上(各資格取得担当)</p> <p>⑤卒業時における生徒の進路決定率 100% 進路ホームルーム活動、進路ガイダンス等を学期に1回(年3回)実施(進路指導課)</p> <p>⑥図書室の年間利用者数475名</p>	<p>①授業見学会を年間3回(学年1回)実施する 年度末に生徒の意識等に関わる調査を実施する</p> <p>②学校行事の精選、授業の振替えを行い授業時間を確保する 1、2学期末考査後に授業を確保する</p> <p>③ペットボトルのリサイクル推進(呼びかけ)とワクチン支援としてキャップをリサイクル業者へ持ち込み、何人分のワクチンになったという結果を校内へ周知する。 年度末に環境美化に関するアンケートを実施する</p> <p>④a刈払機講習会(1年生) bビジネス文書実務検定(全学年) c漢字検定(全学年) d農業技術検定3級(2年生)等を実施する</p> <p>⑤卒業後の進路について意識付をするため、進路ホームルーム活動や進路ガイダンスを実施する</p> <p>⑥毎週火曜日の昼休みに図書室を開放し、各自の端末から検索可能なシステムを構築することにより利用を促す</p>	<p>授業内容に満足94% 提出物の期限を守る94% 学力が上がった 70% 実習に積極的 87%</p> <p>総授業時数5207時間 総自習時間 35時間 授業振替率 99.3%</p> <p>7/30に生徒会でキャップ約4kgを持ち込み2人分のワクチン支援ができ、校内周知を行った。 分別できた91%</p> <p>a18名受講 b3級17名 c全員受検 d15名合格(23人受検) e情報処理検定1名合格</p> <p>進路決定率95.7% 進路ガイダンスを3回実施</p> <p>591冊 図書検索システム「カーリル」を導入</p>	<p>A ----- (所見)</p> <p>①授業見学会や意識調査により、生徒にとってわかりやすく魅力ある授業を目指し改善を行った。</p> <p>②出張や年休での授業の振替をできる限り行い、自習になる時間が極力少なくなるように努力した。</p> <p>③リサイクルを推進する活動により、環境問題に対する意識が向上した。</p> <p>④授業や放課後に、資格取得に向けて練習や学習を行う生徒の姿が見られた。</p> <p>⑤夏休み中の早い時期から、履歴書作成や面接の練習に取り組むことができた。</p> <p>⑥本校の図書館と連携し、読書活動の推進を行った。</p>	<p>①授業に関して多くの項目で、いい数値となっている。</p> <p>③キャップよりプルダブの方が効率がよいのではないかと、中学校や地域と連携するのも、一つの方法である。</p> <p>④資格取得に多くの生徒が取り組んでいる。来年度も続けてほしい。</p> <p>⑥町の図書館と連携してはどうか？例えば、バスの待ち時間等に積極的に利用してほしい。</p> <p>図書室の充実が、農業クラブでの優秀な成績をはじめ国語力の向上に役立っているのではないかと</p>	<p>①生徒の意識等に関わる調査を授業にフィードバックする。</p> <p>②令和8年度は、全国日本学校農業クラブの全国大会があるため、より行事の精選を行う必要がある。</p> <p>③買い取り価格が低くなっており、ワクチン支援本数が少なくなっている。よい活動があれば移行したい。</p> <p>④生徒のモチベーションを高めるために、早い時期から授業で取り組んでいきたい。</p> <p>⑤進路に対する意識付けを早く始める。企業見学等を全員で実施する。</p> <p>⑥生徒が本に触れる機会が増えるよう引き続き取り組みを継続していきたい。 学級文庫の充実を図るため、図書の入替及び周知を行いたい。</p>

重点目標		多様性への理解を深め個々の人権を尊重するとともに、主体的な規範意識の醸成を図る。			学校関係者評価	
評価指標		自己評価			学校関係者意見	
評価指標		活動計画	達成度	総合評価	学校関係者意見	
⑦全校集会を実施して基本的な生活習慣の確立、いじめを含む問題行動や交通事故の未然防止、頭髪服装指導を年間10回以上実施 ルールの意味を理解し自主的に遵守する 100%(生徒指導課)		⑦学校全体、学年、HRで効率的で公平な指導を行う カウンセリングマインドを持ち複数の教員で対応する	実施率100%	B ----- (所見) ⑦毎月全校集会を実施し、頭髪服装指導や生活指導を行うことによりルールの遵守やマナーの向上を図った。	⑦⑧校長が本校と離れているにも関わらず、着実に全校集会を実施しているが、学校長の語りを直接聞くことが大切であり今後も続けてほしい。ヘルメット着用率で、表彰されたのは素晴らしいことだ。4月から自転車についての制度が変わるので、今から周知しておく必要がある。この周囲は道が狭いところが多いので、勝校生には特に注意してもらいたい。	
⑧問題行動未然防止に係る外部講師等を招聘しての講演会を年3回実施(生徒指導課)		⑧ルール違反が見られた場合は、ルールの意味を理解させ自主的に守れるよう粘り強く指導をする 携帯・スマートフォン安全教室、交通安全教室、薬物乱用防止教室等を開催し問題行動をとらない意識を醸成する	遵守率80% 実施率100%	⑧徳島県警や、外部の専門家と連携し講演会を実施した。	⑨学年末に人権学習ファイルを活用して、振り返りの機会を作り人権意識を高める。	
⑨人権感覚を醸成するための人権学習ホームルーム活動を年間5回実施し、生徒対象アンケートでは積極的に取り組んだと評価する率が85%以上(人権教育課)		⑨教職員による学習指導案提示とアンケートの実施をする	実施率100% 積極的に取り組んだ生徒89%	⑨年度当初に作成した人権教育年間計画に基づいた教育活動を実施した。	⑩常に生徒の情報共有をす るだけでなく、学期に一度全教員での情報交換会を実施する。	
⑩いじめや人権に関するアンケート実施 年間3回実施(人権教育課) いじめによる生徒間トラブル 0件(生徒指導課)		⑩常時指導を行い、いじめや人権に関するアンケートを各学期末に行い、未然防止に努め、発覚時には迅速かつ適切な指導を行う 県の悩み相談システム(スタンドバイ)を周知する	実施率100% (いじめ2回、人権3回実施) パンフレットを全員に配布し、タブレット端末から全員ログインし動作の確認を行った	⑩Formsを使った匿名アンケートを導入した。県の悩み相談システムは、全員がスムーズに使用できたが、実際に悩みを相談した利用者はいなかった。常に教員間の情報共有を行い、いじめの兆候を逃さないようにした。	⑩いじめ・人権のアンケートをしっかりと行っているのは、学校教育が正常にできているということである。	

重点目標		教育DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、革新的で魅力ある教育活動を創造する。					
		自己評価			学校関係者評価	次年度への課題と	
評価指標		活動計画	達成度	総合評価	学校関係者意見	今後の改善方策	
全般 ※農務課	<p>⑪年3回の檜原棚田の保全活動 1年生は全員及び2・3年生は希望者のみ参加とし参加総数22名以上(農務課)</p> <p>⑫販売実習 年7回以上(農務課)</p> <p>⑬地元産直市「よってネ市」での販売 農産物販売 年間35品目以上(農務課)</p>	<p>⑪上勝町檜原棚田の保全活動に参加し地域の方と連携した農業活動の実践をする</p> <p>⑫野菜・果樹・草花・加工品等の生産及び販売をする</p> <p>⑬産直市で年間を通して継続的に販売をする</p>	<p>田植え、草刈、稲刈りの3回実施、参加総数23名</p> <p>販売実習7回実施</p> <p>38品目販売を実施 年間約200日出荷</p>	<p>A (所見)</p> <p>⑪トラクター等を使わず、昔ながらの方法で田植えから収穫までに行い、後の調理実習で食することにより、自然への理解、食育、協同作業による人間的成長といった貴重な学びを得ることができた。</p> <p>⑫⑬収穫体験だけでなく、生産から販売までの流れ(流通)を体験することにより、ビジネス能力や責任感を醸成することができた。</p> <p>⑭製造からラベルデザイン、マーケティング、接客まで体験することができ、ビジネスの実態を学ぶことができた。</p> <p>⑮介護施設と連携することにより、高齢者の方々との交流を通じ、地域</p> <p>社会の課題や福祉について学ぶことができた。</p> <p>⑯インターネットから即座に情報収集ができ、調べ学習や資料作成を効率的に行うことができた。</p>	<p>⑫栽培から収穫、販売まで体験するのは、非常によい経験となり今後役に立つだろう。</p> <p>⑬「よってね市」等での販売スケジュールが事前に分かればありがたい。</p> <p>⑭勝浦町のイベントにも販売に来ていただいたが、おいしく商品評価も高い。製品として完成している。</p> <p>⑮ジンジョウユリは植え付けても、害獣にすぐ食されやすい。植えた後の管理が大変であるが、根気よく取り組んでほしい。約30年ほど前からの、当時の木沢村や新野高校との連携もある勝浦校の伝統ある取り組みである。</p>	<p>⑪熱中症への対応が必要である。ネッククーラー等を適切に使用したい。</p> <p>⑫⑬販売日の告知が行き渡らない。ホームページやSNSを活用したい。</p> <p>⑭高品質なジャムやマーマレードを安定して供給したい。そのためには作業時間の確保が必要であり、家庭科等の授業と連携して取り組みたい。</p> <p>⑮交流学习の日程を早めに調整実施したい。ジンジョウユリが花が咲くまで5年という長い期間がかかるので、活動を継続して途切れないようにしたい。</p> <p>生徒移動のための予算確保が課題である。</p> <p>⑯ほとんどの授業でタブレット端末と電子黒板を、日常的に使用しているが、故障したときの対応が課題である。対応方法についての情報を職員間で共有していきたい。</p>	
	応用生産科	<p>⑭6次産業化の実践を通して地域産業を支える力の育成農家や企業、地元NPO法人との連携活動 年10回 ユコウを使った商品開発(年1つ以上)及び商品の販路拡大、販売促進(農務課)</p>	<p>⑭6次産業化実践教育ステップアップ事業を継承する ユコウ等のジャムやマーマレードの品質改良及び販売地元NPO法人と連携し、野菜や果樹の栽培及び加工・販売 農家や企業と連携しユコウを使った商品の販路拡大及び商品の開発を行い、県の「徳島ブランド」への認定を推進する。(令和7年度とくしま生徒まんなか探究活動推進事業実施校に決定)</p>	<p>連携活動年間13回実施</p> <p>「キンカン&ユコウマーマレード」の開発と販売活動3回実施</p> <p>とくしま特選ブランドに認定 (令和8年1月28日)</p>	<p>⑯インターネットから即座に情報収集ができ、調べ学習や資料作成を効率的に行うことができた。</p>		
	園芸福祉科	<p>⑮草花を活用して地域の活性化を担う力を育成 交流学习の実施 年9回 地元NPO法人との連携交流活動年9回</p> <p>ジンリョウユリの保全活動 年2回 継代培養でジンジョウユリ株 100株以上の株分け(農務課)</p>	<p>⑮花の栽培をとおして地域との交流を深める学習をする 勝浦町内の施設等の花壇整備や小学校、保育園等との交流 学習及び各種イベントへの参加・協力 バイテク技術による希少植物ジンリョウユリ等の組織培養及び名西郡神山町への定植による環境保全活動</p>	<p>交流学习13回</p> <p>NPO法人11回</p> <p>ジンリョウユリ保全活動1回実施</p> <p>ジンリョウユリの株110株培養</p>			
	<p>⑯様々な場面での1人1台タブレットの活用とホームページで情報を発信し、全ての教科等でタブレットを活用 更新年間90回(45週×2回)以上(H P担当)</p>	<p>⑯農業関係や各課・各科・部活動等でのタブレットの活用と情報の発信をする</p>	<p>普段の授業以外にも、プロジェクト発表や、行事チラシの作成でタブレットを使用</p> <p>H P 更新回数96回</p>				

重点目標	教職員のコンプライアンス意識の高揚と働き方改革を推進し、地域とともに歩み続ける学校づくりに努める。			学校関係者評価	次年度への課題と今後の改善方策
自 己 評 価					
学校関係者意見	活動計画	達成度	総合評価	学校関係者意見	
<p>⑰学校行事への主体的な参画と生徒会・部活動の充実と活性化 学校祭・収穫祭の充実 各行事毎に生徒へのアンケートの実施と情報共有 各満足度80%以上 清掃運動 放課後に月1回実施(特別活動課)</p> <p>⑱会議資料のPDF化及びメール受信時の紙媒体での印刷の廃止等を推進し、事務的な仕事の軽減を図り、18時までの退庁を励行(働き方改革)</p> <p>⑲外部講師を招聘してのコンプライアンス研修年1回以上 職員朝会や隙間時間を利用してのコンプライアンス常時研修20回以上(コンプライアンス推進委員)</p>	<p>⑰学校行事の精選と生徒会を中とする計画的な企画運営を実践する。生徒会を中心とする放課後の清掃活動を実施する</p> <p>⑱定期考査後、長期休業日中に積極的に繰越年休の取得を促し、ウェルビーイングの実現を目指す 家庭への連絡プリントをできるだけなくし、さくらメールを利用して送信する</p> <p>⑲教育委員会から講師を招聘して研修を行う 県教育委員会からの通知や新聞記事を教職員に伝え、自分事として考えるように啓発する</p>	<p>Formsを使い行事毎にアンケートを実施。各行事満足度80%以上を達成 清掃活動は、学期に1度実施</p> <p>ストレスチェックの集団分析の結果、「仕事や生活の満足度が高い」で所属偏差値59.1を達成(全国平均は50) さくらメールでの保護者へのメッセージ送信を65通送信</p> <p>県教育委員会コンプライアンス室長による研修会を実施 年間15回の常時研修を実施</p>	<p>A (所見)</p> <p>⑰体育祭、文化祭共に、ほぼ100%の生徒が、「とてもよかった」「よかった」と答えた。クラスやチーム一丸となることの楽しさや大切さを学ぶことができた。ただ、体育祭で熱中症の心配をする回答が目立った。</p> <p>⑱校務の効率化について、各教員からの意見を吸い上げることにより、今後働き方改革を推進していきたい。さくらメールを普段から使用することにより、県の災害訓練時にも操作に迷うことなく送信することができた。</p> <p>⑲県教委からの綱紀肅正に関する通知が届いたタイミングで、研修を実施した。7月に実施した県教委コンプライアンス室長の研修にも、全教員が積極的に参加した。</p>	<p>⑰勝浦校では、教員も積極的に文化祭や収穫祭といった学校行事に参加し楽しんでいるという印象がある。生徒との関係もよくなり、その後の教育活動にもいい影響を与えられる。ライフル部の成績も素晴らしいが、民芸部の活動もより活性化している。長ズボンを着用する女性生徒も多くなってきたと感じている。LGBTの生徒への配慮が今後も必要である。</p> <p>⑱メールでの連絡の方が、保護者としてはありがたい。今年は行事予定表もデジタルデータで添付され、わかりやすかった。100%の保護者に届いていないのは、今後の課題としてほしい。</p>	<p>⑰生徒の意見を取り入れた行事にするために、生徒会活動をより活発化したい。熱中症対策として、ネッククーラーを効果的に活用したい。</p> <p>⑱年休を取得しやすい雰囲気づくりを管理職が中心となって行いたい。さくらメールをより活用し、学校の情報を保護者に配信することにより開かれた学校づくりを推進していきたい。</p> <p>⑲長距離通勤の教員も多く、交通事故の未然防止が重要である。その他のコンプライアンス関係事項についても、引き続き粘り強い研修を実施していきたい。</p>